

新型コロナウイルス 最近の状況について

令和5年度第1回県央広域振興圏経営懇談会

2023年6月26日

県央保健所所長 仲本光一

5 類変更後の医療体制 2023年5月8日～

感染症法上の分類変更

(参考)

感染症の分類と考え方

分類	実施できる措置等	分類の考え方
一類感染症	・対人：入院（都道府県知事が必要と認めるとき）等 ・対物：消毒等の措置 ・交通制限等の措置が可能	感染力と罹患した場合の重篤性等に基づく総合的観点から見た危険性の程度に応じて分類
二類感染症	・対人：入院（都道府県知事が必要と認めるとき）等 ・対物：消毒等の措置	
三類感染症	・対人：就業制限（都道府県知事が必要と認めるとき）等 ・対物：消毒等の措置	
四類感染症	・動物への措置を含む消毒等の措置	一類～三類感染症以外のもので、主に動物等を介してヒトに感染
五類感染症	・発生動向調査	国民や医療関係者への情報提供が必要
新型インフルエンザ等感染症	・対人：入院（都道府県知事が必要と認めるとき）等 ・対物：消毒等の措置 ・政令により一類感染症相当の措置も可能 ・感染したおそれのある者に対する健康状態報告要請、外出自粛要請 等	新たに人から人に伝染する能力を有することとなったインフルエンザであって、国民が免疫を獲得していないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれ
指定感染症	一類から三類感染症に準じた対人、対物措置（延長含め最大2年間に限定）	既知の感染症で、一類から三類感染症と同等の措置を講じなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれ
新感染症	症例積み重ね前	ヒトからヒトに伝染する未知の感染症であって、重篤かつ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれ
	症例積み重ね後	一類感染症に準じた対応（政令で規定）

3

(参考)

感染症法の対象となる感染症

平成26年1月30日現在

分類	感染症の疾病名等
一類感染症	【法】エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類感染症	【法】急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルスに限る）、結核、鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH5N1であるものに限る。以下「鳥インフルエンザ（H5N1）」という。）
三類感染症	【法】腸管出血性大腸菌感染症、コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス
四類感染症	【法】E型肝炎、A型肝炎、黄熱、Q熱、狂犬病、炭疽、鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、ポツリヌス症、マリア、野兔病 【政令】ウエストナイル熱、エキノコックス症、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサナル森林病、コクシジオイデス症、サル痘、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺炎候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ペネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類感染症	【法】インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、クリプトスポリジウム症、後天性免疫不全症候群、性器クラミジア感染症、梅毒、 麻しん 、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 【省令】ア메ーバ赤痢、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、急性出血性結膜炎、急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、細菌性髄膜炎、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、 侵襲性髄膜炎菌感染症 、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、先天性風しん症候群、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、百日咳、風しん、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、 薬剤耐性アシネトバクター感染症 、薬剤耐性緑膿菌感染症、流行性角結膜炎、流行性耳下腺炎、淋菌感染症
指定感染症	鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH7N9であるものに限る。）
新感染症	（現在は該当なし）
新型インフルエンザ等感染症	【法】新型インフルエンザ、再興型インフルエンザ

4

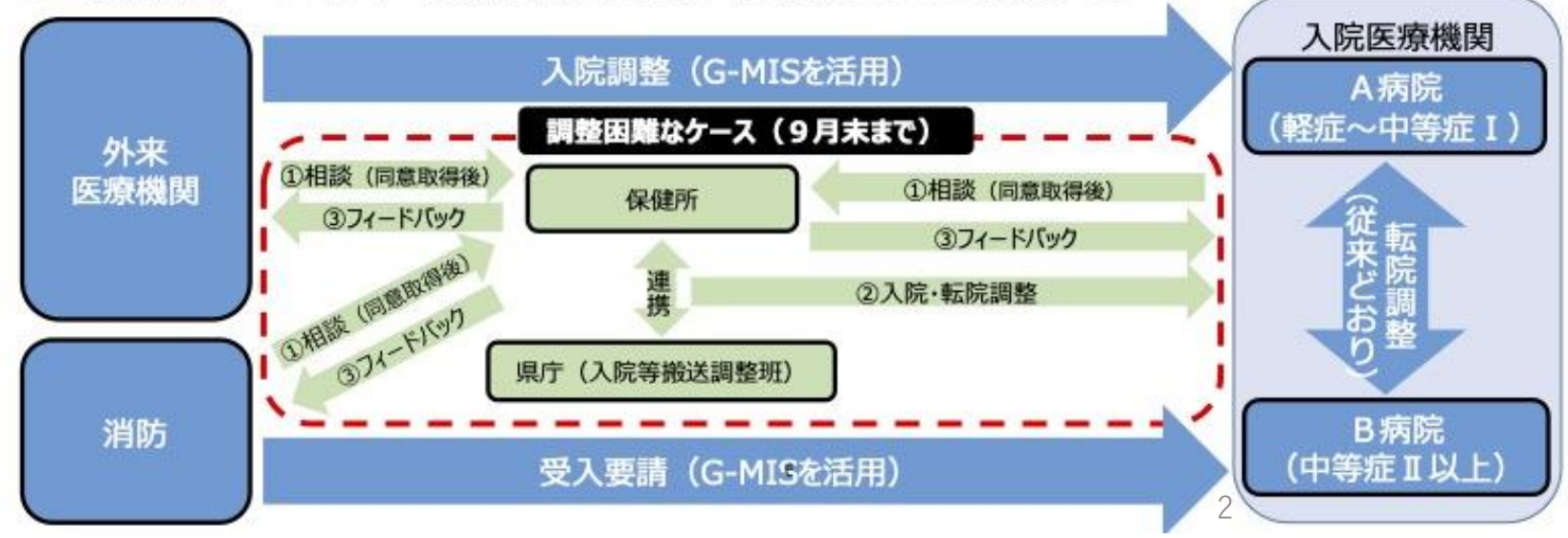
5 類後 移行期の入院調整

6

入院調整について

- 5月8日以降は、医療機関間による入院調整を原則とする
- 円滑な体制移行の等に対しては、行政に
- 行政は、調整支援助言するとともに、調整連携強化と課題解決
- 休日夜間については、

5月8日以降、
全てのコロナ受け入れ病院・医師会、消防等関係者との
WEB連絡会議を定期的に実施。
グループメールも併用して情報、問題点の共有。



コロナ入院医療機関グループ分け

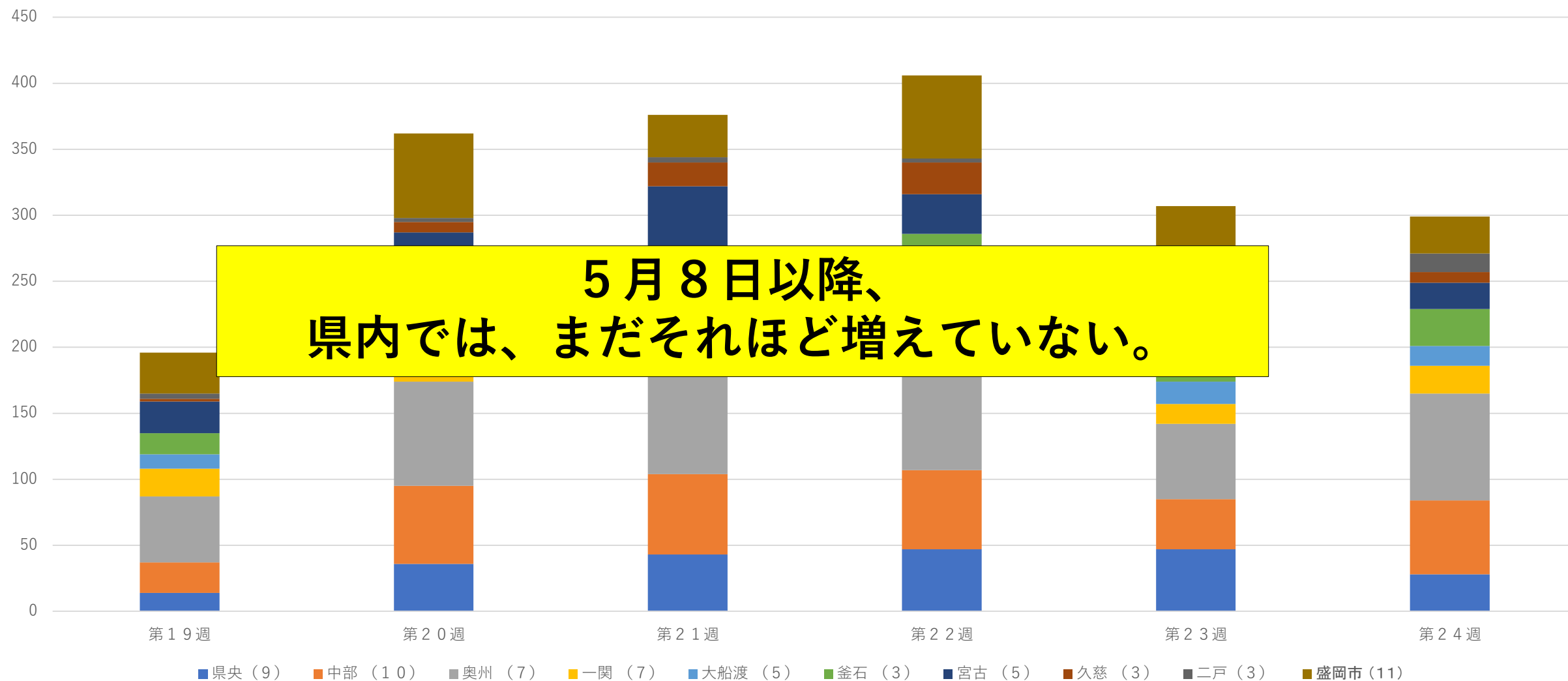
盛岡医療圏域の入院医療機関の連携グループ

R5.4.28時点

No.	区分	施設名	所在地	感染防止措置	管轄HC
1	重点医療機関等 (重症対応医療機関)	岩手県立中央病院	盛岡市上田一丁目4番1号	中央	盛岡市保健所管内
			目15-1	市立	
			25-1	中央	
			野64-9	医大	
			丁目4番12号		
			-8		
			29-2		
			29-15	日赤	
			3-2-1		
			丁目22-3		
			的田53-2		
			間木70-190	医大	
			-14-1	市立	
			20-40		
			精41-10		
			42番地2号	日赤	
			22地割字七ツ森16番地243		
18		八幡平市立病院	八幡平市大更第25地割328番地1		盛岡市保健所管内
19		東八幡平病院	八幡平市柏台二丁目8番2号	中央	
20		国民健康保険葛巻病院	岩手郡葛巻町葛巻第16地割1番地1	医大	
1	重点医療機関等 (重症対応医療機関)	岩手医科大学附属病院	紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号	医大	盛岡市保健所管内
2	重点医療機関等	盛岡赤十字病院	盛岡市三本柳6地割1番地1	日赤	
3	重点医療機関等	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	盛岡市内丸19-1	内丸	
4	二次救急	川久保病院	盛岡市津志田26地割30-1	日赤	
5		盛岡南病院	盛岡市津志田13地割18-4		
6	二次救急	盛岡友愛病院	盛岡市永井12地割10番地	日赤	
7		孝仁病院	盛岡市中太田泉田28番地	内丸	
8	二次救急	遠山病院	盛岡市下ノ橋町6-14	医大	
9	二次救急	板内病院	盛岡市肴町2-28	日赤	
10		内丸病院	盛岡市本町通1-12-7	内丸	
11		秋野病院	盛岡市本宮一丁目6番12号		
12		都南病院(精神科)	盛岡市東見前6地割40-1		
13		未来の風せいわ病院(精神科)	盛岡市手代森9地割70-1		
14		板内第二病院	滝沢市大釜吉水103番地1	日赤	盛岡市保健所管内
15		常宿温泉病院	岩手郡平町南郷第32地割字南郷265番地	内丸	
16		医療法人社団厚厚堂南島病院	紫波郡矢巾町広宮沢第1地割字2-181	日赤	盛岡市保健所管内
17		岩手県立療育センター	紫波郡矢巾町医大通二丁目1番3号		
18		みちのく療育園	紫波郡矢巾町大字煙山第24地割1番		
19		社団医療法人法成会平和台病院(精神科)	紫波郡紫波町大淵字南谷地110番地5		

岩手県内保健所別患者報告数

5月8日以降 週ごとのデータ



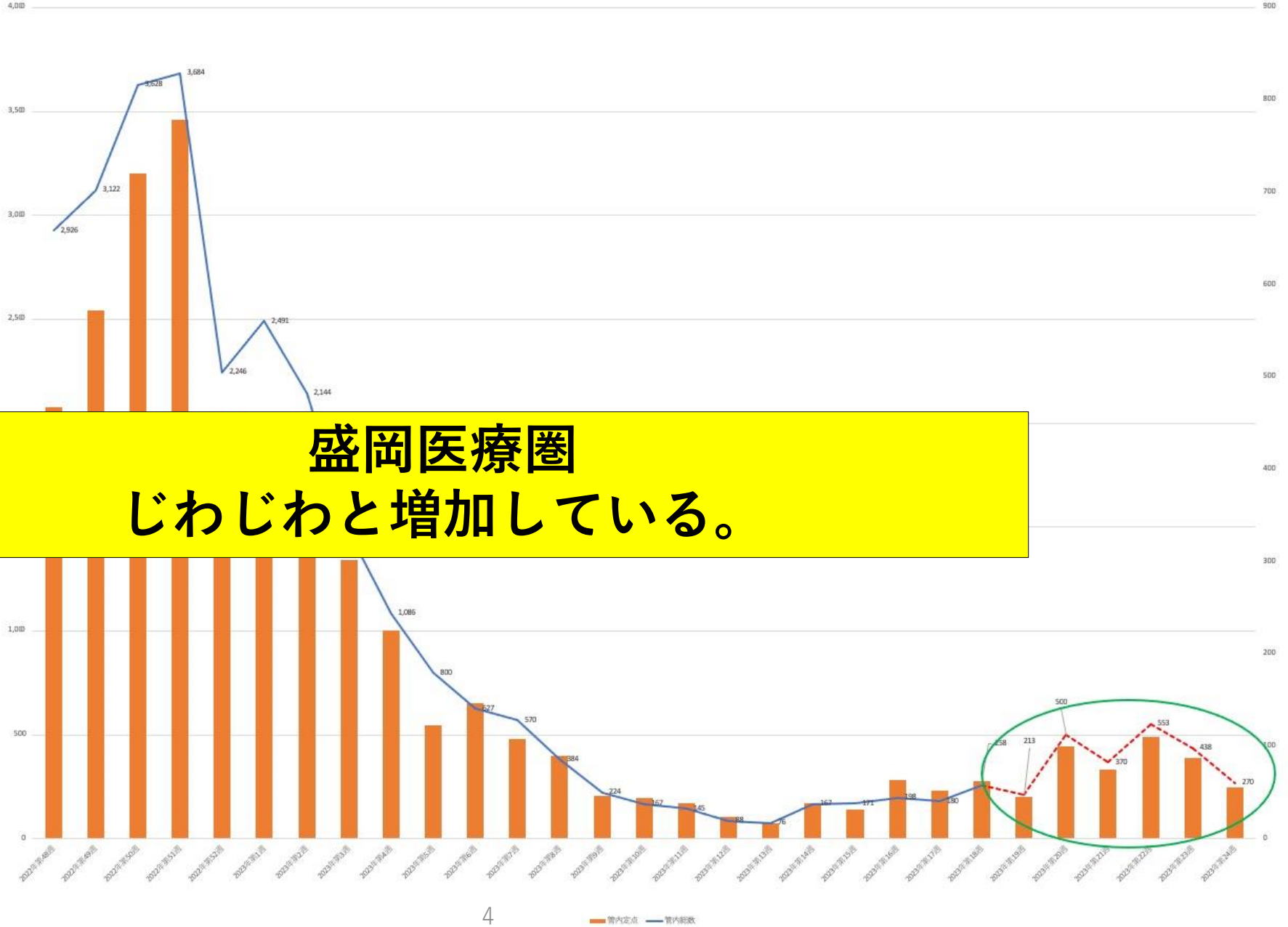
盛岡医療圏の新規感染者発生動向（2022年第48週～2023年第24週）

(人)			
	管内総数	管内定点	相関係数
			0.991592815
			関数
			$y = 5.2314x - 22.789$
2022年第48週	2,926	467	
2022年第49週	3,122	572	
2022年第50週	3,628	720	
2022年第51週	3,684	779	
2022年第52週	2,246	450	
2023年第1週	2,491	444	
2023年第2週	2,144	386	
2023年第3週	1,475	302	
2023年第4週	1,086	226	
2023年第5週	800	123	
2023年第6週	627	147	
2023年第7週	570	108	
2023年第8週	384	90	
2023年第9週	224	47	
2023年第10週	167	44	
2023年第11週	145	39	
2023年第12週	88	24	
2023年第13週	76	17	
2023年第14週	167	39	
2023年第15週	171	32	
2023年第16週	198	64	
2023年第17週	180	52	
2023年第18週	258	62	
2023年第19週	213	45	
2023年第20週	500	100	
2023年第21週	370	75	
2023年第22週	553	110	
2023年第23週	438	88	
2023年第24週	270	96	

※1 2022年第47週から2023年第18週までは、HER-SYSによる新規感染者数

報告値総数及び定点医療機関報告地総数

※2 2023年第19週以降は定点医療機関からの報告値総数

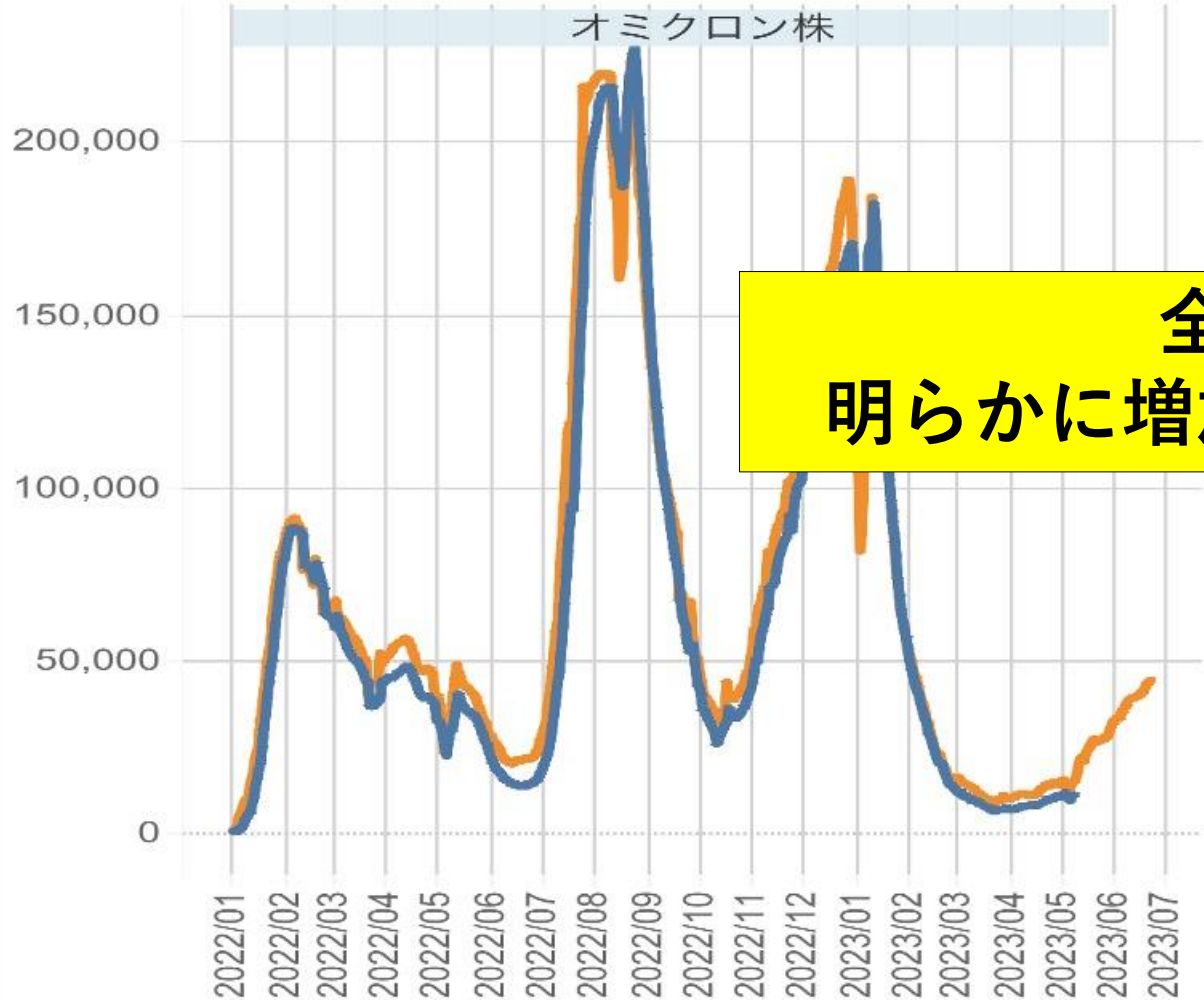


新型コロナ患者数推移【全国】

2022/01/01 - 2023/06/22

□—◇

■ 公表値 ■ 推計値



新型コロナ患者数推移【年齢層別】

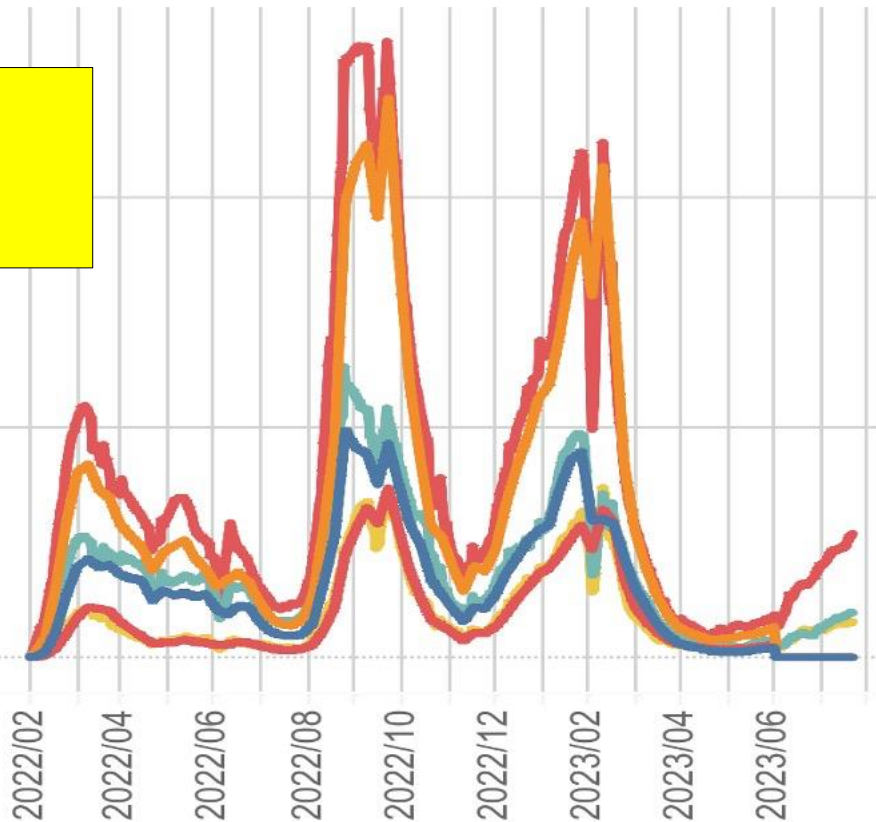
- ✓ 公表値 19歳以下
- ✓ 公表値 20歳以上60歳未満
- ✓ 公表値 60歳以上
- ✓ 推計値 19歳以下

■ 公表値 19歳以下 ■ 公表値 60歳以上
■ 公表値 20歳以上60歳未満 ■ 推計値 19歳以下

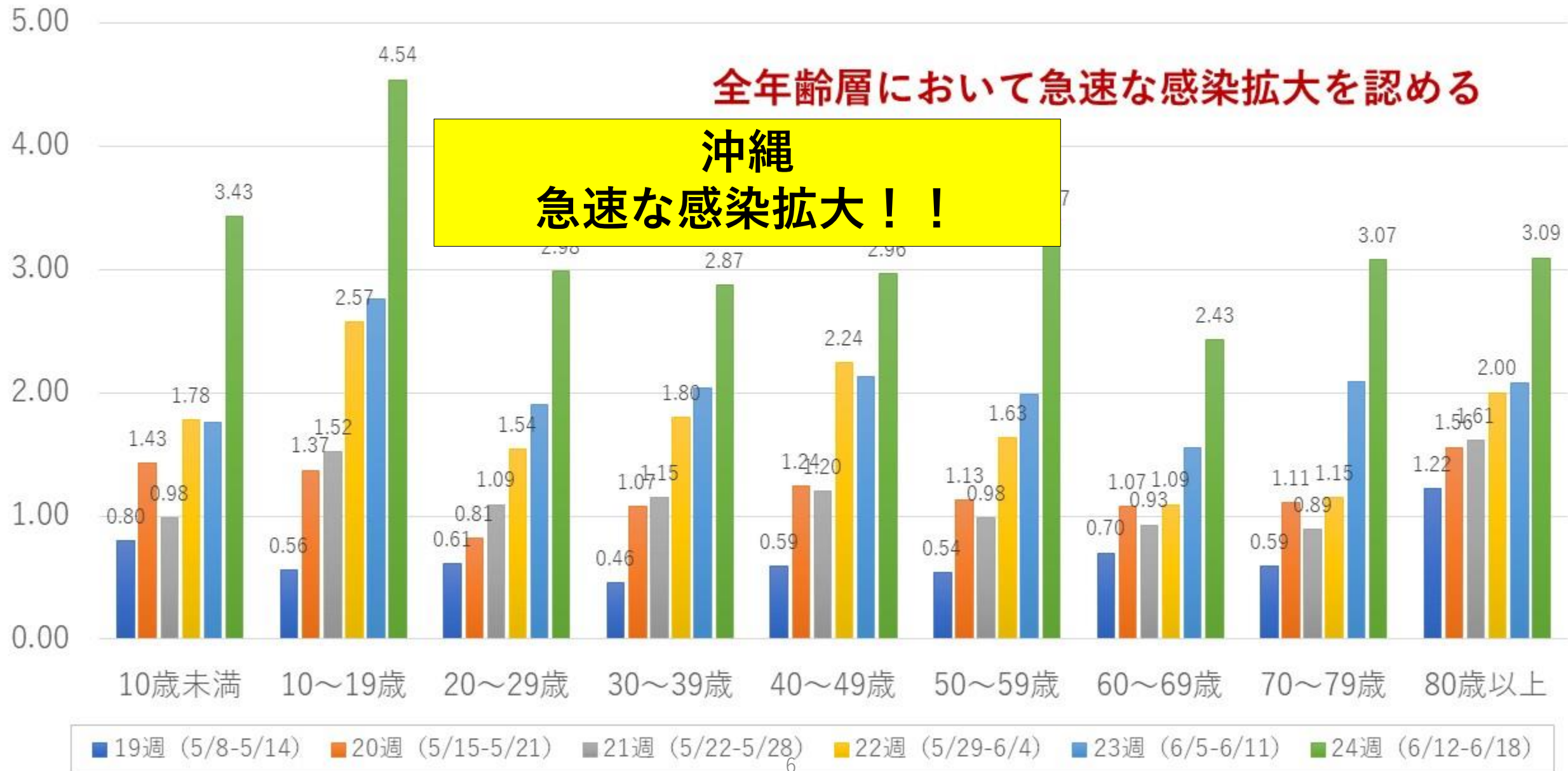
患者数 (人)

50,000

0



年齢階級別にみる定点当たり患者報告数（沖縄県）



入院患者数および新規入院患者数の推移（沖縄県）



致死率は低下している
が、

Our World
in Data

第1波の頃
致死率 5%以上

ワクチン接種開始

オミクロン株の拡大

現在
致死率 0.22%

2020年

2021年

2022年

23年

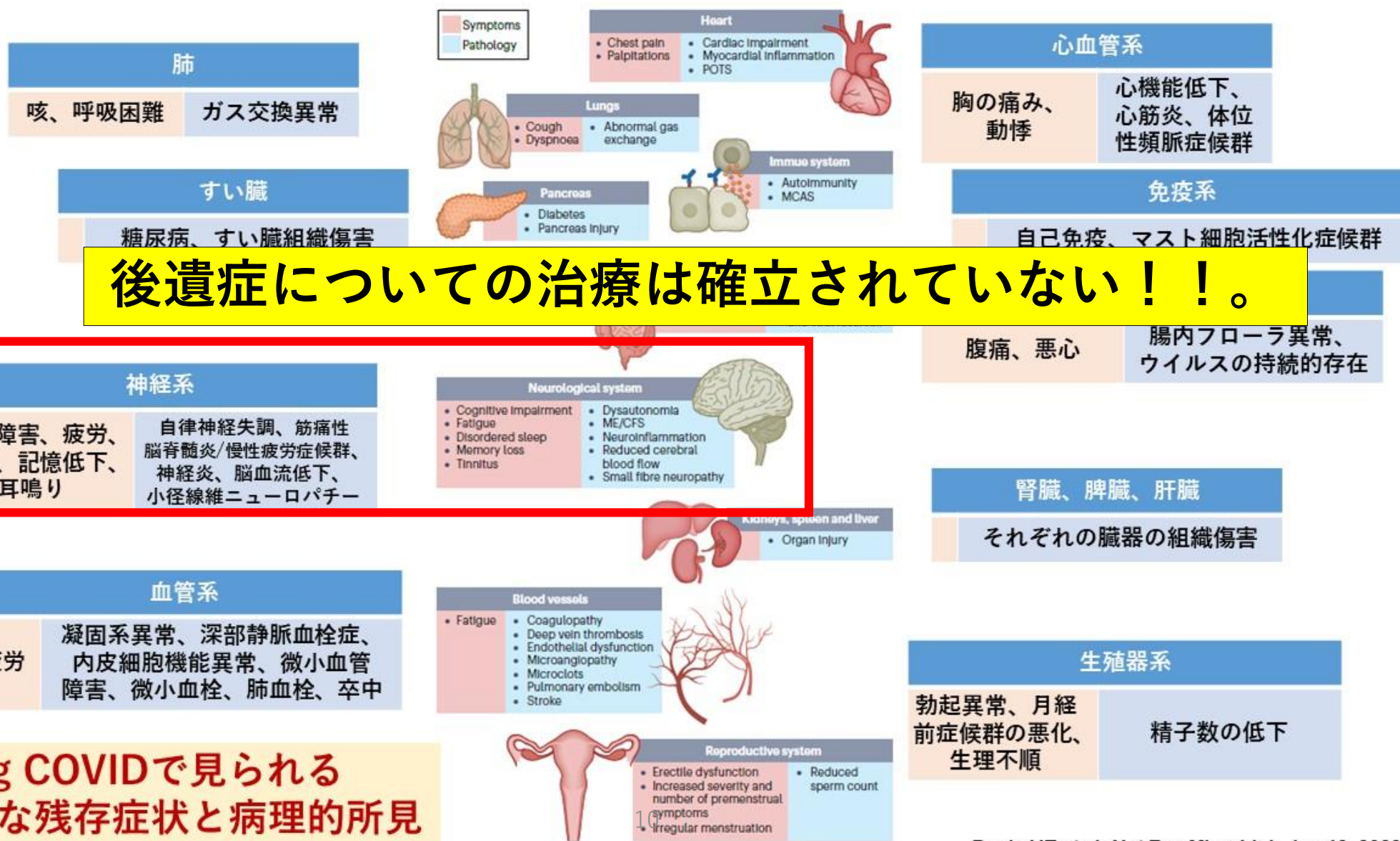
人/日



死亡者は増えている！！



コロナ後遺症が多い！！



Long COVIDで見られる
様々な残存症状と病理的所見

- 盛岡医療圏では少しずつ増加している。
- 全国的には、確実に増加傾向にある。
- 沖縄は急速な拡大が見られ、病床も逼迫しつつある。
- 過去の経験から、沖縄・首都圏に1ヶ月程度遅れて岩手県でも感染が拡大する。
- 死亡者数、後遺症の多さから、コロナはインフルエンザ同等疾患ではない。



- 死亡者数を減らすために、重症化リスクの高い人にワクチン接種を定期的に行う。
- ある程度の流行規模になったら一般市民に感染対策の協力を求めることが重要。特に学校でのクラスターに注意する。
- 医療機関や高齢者施設では一例発症しても、保健所に報告をお願いしています。